

熊野 茂<sup>1</sup>・(以下 50 音順) 新井章吾<sup>2</sup>・大谷修司<sup>3</sup>・香村真徳<sup>4</sup>・笠井文絵<sup>1</sup>・佐藤裕司<sup>5</sup>・  
洲澤 讓<sup>6</sup>・田中次郎<sup>7</sup>・千原光雄<sup>8</sup>・中村 武<sup>9</sup>・長谷井稔<sup>10</sup>・比嘉 敦<sup>11</sup>・  
吉崎 誠<sup>12</sup>・吉田忠生<sup>1</sup>・渡邊 信<sup>8</sup>：  
環境省「絶滅のおそれのある種のリスト」(RL) 2007 年度版  
(植物 II・藻類・淡水産紅藻) について

環境省が公表した 2007 年度版レッドリスト(植物 II・藻類)は和名と学名をみのリストなので、掲載されている「種」が何者か必ずしも明確ではない。そこで、アセスメント現場などで実際に淡水産紅藻を扱う方々の参考にするため、レッドリスト(植物 II・藻類・淡水産紅藻)掲載種のノートを作成した。本編では、淡水産紅藻の種を先ずカテゴリー毎に区分し、次いで現行の分類系に従って配列した。各種は以下の項目が記述されている。学名にはその原著を示した。和名には命名規約はなく先取権はないが、最も古い著者が提唱した和名を採用するように努めた。最近の知見から不相当と思える和名や、未命名の分類群には新たに和名を与えた。文献の著者名、年、初ページを略記し、巻末の引用文献表に到達できるようにした。異名とその文献の著者名、年、初ページを略記した。今回選定した新カテゴリーと従来の旧カテゴリーを矢印で示し、選定の理由も簡単に記した。タイプ産地、国内外の分布地も略記した。

1. 絶滅危惧 I 類 (Critically Endangered + Endangered):  
24 種

ウシケノリ目 Order Bangiales・ウシケノリ科 Family Bangiaceae  
ウシケノリ属 Genus *Bangia*

1. *Bangia atropurpurea* (Roth) C. Agardh 1824: 76. 和名：  
タニウシケノリ (岡田 1944: 201).

文献：熊野 1977: 160, 熊野 1998: 9, 山岸 1998: 42, 山岸 1999: 98, 熊野 2000: 35, Kumano 2002: 35.

異名とその文献：*Conferva atropurpurea* Roth 1816: 208. pl. 6.

カテゴリー：絶滅危惧 I 類 (CR+EN)。新規選定。集中豪雨などによる河岸の崩壊の影響を直接受ける山岳地帯の澤に生育する希少種である。

タイプ産地：欧州：ドイツ, Bremen。分布：東アジア：中国, 四川省北碚近傍の嘉陵江。北米：Superior 湖, Michigan 湖以外の 5 大湖。欧州：ベルギー, オランダなど。日本では, 山梨県, 静岡県に分布する。

オオイシソウ目 Order Compsopogonales・オオイシソウ科  
Family Compsopogonaceae

オオイシソウモドキ属 Genus *Compsopogonopsis*

2. *Compsopogonopsis japonica* Chihara 1976: 289, f. 1–2.  
和名：オオイシソウモドキ (千原 1976: 289).

文献：千原・中村 1975: 150, Seto 1979: 57, 中村・千原 1977b: 28, 中村 1984e: 28, 環境庁 1993: 90, 中村 1993a: 172, 中村 1996: 20, 吉田 2000c: 222, 熊野 2000: 21, Kumano

2002: 22, 香村 2006c: 398.

カテゴリー：絶滅危惧 I 類 (CR+EN) → 絶滅危惧 I 類 (CR+EN)。群馬県のタイプ産地では絶滅したが, 沖縄県石垣島などの数カ所から採集された。ランク変化なし。

タイプ産地：日本群馬県境町近傍の利根川河川敷, 小さい砂利人工池中。分布：日本固有種。石垣島川平のフーガカーでは絶滅したが, 沖縄県石垣島と沖縄本島で数カ所分布する。

オオイシソウ属 Genus *Compsopogon*

3. *Compsopogon aeruginosus* (J. Agardh) Kützing 1849:  
433. 和名：イバラオオイシソウ (中村・千原 1983: 54).

文献：中村 1984a: 24, 環境庁 1993: 90, 中村 1996: 20, 瀬戸 1996: 374, 吉田 2000e: 252, 熊野 2000: 24, Kumano 2002: 24.

異名とその文献：*Pericystis aeruginosa* J. Agardh 1847: 6.

カテゴリー：絶滅危惧 II 類 (VU) → 絶滅危惧 I 類 (CR+EN)。1995 年以降, 宍道湖の産地から絶滅。最後の報告から 50 年を経過していないので CR+EN に選定した。

タイプ産地：中米：カリブ海, 大アンチル諸島, Cuba, Havana 近傍の流水中。分布：欧州, 東アジア：フィリピン, インドネシア, インド, 北米, 中米, 南米。日本では沖縄県, 島根県に分布していた。

4. *Compsopogon hookeri* Montagne 1846: 157, pl. 46,  
figs. 3, 10; pl. 47, fig. 1. 和名：インドオオイシソウ (中村・千原 1983: 54).

文献：中村 1984c: 26, 環境庁 1993: 90, 中村 1993b: 174, 中村 1996: 20, 吉田 2000h: 255, 熊野 2000: 31, Kumano 2002: 31.

カテゴリー：絶滅危惧 II 類 (VU) → 絶滅危惧 I 類 (CR+EN)。宍道湖に 13 産地と集中, 他に千葉県ほか。ランク CR+EN に格上げした。

タイプ産地：インド, Madras 地方。分布：インドのタイプ産地のほか, 欧州：フランス, Erth 川 (Rhône 河の支流)。東アジアに分布。日本では千葉県, 静岡県, 島根県, 鹿児島県口永良部島に現存する。

5. *Compsopogon prolificus* Yadava et Kumano 1985: 19,  
figs. 1–7. 和名：ムカゴオオイシソウ (吉崎 1998: 332).

文献：熊野 1997d: 22, 吉田 2000i: 256, 熊野 2000: 26, Kumano 2002: 24.

カテゴリー：絶滅危惧 II 類 (VU) → 絶滅危惧 I 類 (CR+EN)。

吉崎 (1998) が報告した千葉県の産地では絶滅。最後の報告から 50 年を経過していないので CR+EN に選定した。

タイプ産地：インド, Uttar Pradesh, Allahabad. 分布：インドのタイプ産地のほか、日本では千葉県木戸川に分布していた。

**6. *Compsopogon corticrassus*** Chihara et Nakamura 1980: 136, figs. 1, 2A–J, 3A–L, 4A–C. 和名：アツカワオオイシソウ (千原・中村 1980: 136).

文献：中村 1984b: 25, 環境庁 1993: 90, 中村 1996: 20, 吉崎 1997: 450, 山岸 1998: 42, 宮崎県 2000: 192, 吉田 2000: 254, 熊野 2000: 28, Kumano 2002: 27.

カテゴリ：絶滅危惧 II 類 (VU) → 絶滅危惧 I 類 (CR+EN)。中村・千原 (1980) 以降、報告された産地は極めて少ない。CR+EN に 1 ランク格上げした。

タイプ産地：日本埼玉県行田市見沼代用水中、コンクリート川底に付着する。分布：日本固有種。タイプ産地のほか、千葉県、群馬県、埼玉県、鹿児島県、宮崎県に分布。

カワモズク目 Order Batrachospermales・カワモズク科 Family Batrachospermaceae

カワモズク属 Genus *Batrachospermum*

カワモズク節 Section *Batrachospermum*

**7. *Batrachospermum sporiferum*** Mori 1975: 472, pl. IV, figs. 1–12. 和名：アズキイロカワモズク (新称)。

カテゴリ：絶滅危惧 I 類 (CR+EN), 新規選定。今回の採集例はカワモズクより少ない。

タイプ産地：日本愛知県設楽郡鳳来町副川、棚山高原。分布：日本固有種。タイプ産地付近に 2 ヶ所。

**8. *Batrachospermum skujae*** Geitler 1944: 127 emend. Vis et al. 1995: 52. 和名：ツマグロカワモズク (新称)。

文献：Mori 1975: 472, 森 1985: 6, 山岸 1998, 熊野 2000: 73, Kumano 2002: 72.

異名とその文献：*B. sporulans* Sirodot 1884: 216, tab. 11, 非合法名；森 1984: 11.

カテゴリ：絶滅危惧 I 類 (CR+EN), 新規選定。本種の採集例はカワモズクより少ない。今回は調査範囲を広げ、本種の幾つかの生育地を発見した。ニホンカワモズクとは逆に、本種は近畿地方以西の西日本に分布する。

タイプ産地：フランス, Fontaine et doué de Bas-Champs, Betton. 分布：欧州：ポルトガル, ポーランド, クリミア, ラトヴィア, スウェーデン。東アジア：北米に分布する。日本では、愛知県、広島県などに分布する。

イシカワモズク節 Section *Setacea*

**9. *Batrachospermum atrum*** (Hudson) Harvey 1841: 120, 和名：イシカワモズク (Matsumura 1895).

文献：熊野 1997a: 8, 環境庁 2000: 257, 熊野 2000: 130, Kumano 2002: 129, 兵庫県 2003: 308, 吉崎・出井 2005:

409.

以下の異名は主として Kumano (2002) に従った。

異名とその文献：*Conferva atra* Hudson 1898: 597; *B. dillenii* Sirodot 1884: 254, pl. 20, figs. 1–2, pl. 21, figs. 1–12, pl. 22, figs. 8–13, イシカワモズク 松村 1895; *B. gallae* Sirodot 1884: 256, pl. 22, figs. 1–7, ヒメカワモズク 大石 1901, 熊野 1977: 168, 環境庁 2000: 257; *B. angolense* W. West et G. S. West 1897: 2; *Sirodotia angolensis* (W. West et G. W. West) Skuja in Reis 1960: 53.

カテゴリ：準絶滅危惧 (NT) → 絶滅危惧 I 類 (CR+EN)。池や湧水からの水路などの環境悪化で急激に減少。CR+EN に 2 ランク格上げした。

タイプ産地：英国, Wales, Llanfaethly と Trefadog との間, Gors Bach, Little Well. 分布：欧州：英国, フランス, ベルギー, ドイツ, ポーランド, ポルトガル, スウェーデン, アンゴラ。東アジア：中国, 韓国。大洋州：豪州, ニュージーランド。北米, 南米：ブラジル。日本では北海道, 青森県, 岩手県, 栃木県, 東京都, 石川県に分布。

ホソカワモズク節 Section *Turfosa*

**10. *Batrachospermum periplocum*** (Skuja) Necchi 1990: 139, fig. 218–227. 和名：ミナミホソカワモズク (新称)。

文献：熊野 2000: 140, Kumano 2002: 139.

異名とその文献：*B. vagum* var. *periplocum* Skuja 1969: 62, figs. 1–15.

カテゴリ：絶滅危惧 I 類 (CR+EN), 新規選定。沖縄県沖縄本島に隔離分布する。

タイプ産地：ブラジル, Amazonas 州, Rio Negro. 分布：タイプ産地の他, 南米：ブラジル, Amazonas 州, Manaus, “Forest Reserve Adolfo Ducke”, Minas Gerais 州, Santa Barbara に分布。日本新産種。日本では沖縄県沖縄本島に分布する。

コントルタ節 Section *Contorta*

**11. *Batrachospermum virgato-decaisneanum*** Sirodot 1884: 290, pl. XXIII, figs. 1–10. 和名：ニシノカワモズク (新称)。

文献：Kumano 1982b: 289, 熊野 1996g: 23, 熊野 2000: 161, Kumano 2002: 158, 兵庫県 2003: 308.

異名とその文献：*B. mikrogyne* Flint et Skuja in Flint 1953: 10, figs. 1–10.

カテゴリ：絶滅危惧 I 類 (CR+EN), 新規選定。最初の産地で絶滅。北陸で第 2 の産地が見つかったが危機的状況。日本で唯一の産地である。

タイプ産地：Sirodot (1884) は特定せず、標本はフランス, Montfort と Rennes の近傍。分布：欧州：フランス, スウェーデン。東アジア, 大洋州：オーストラリア, ニュージーランド, 南米：ブラジルに分布する。日本では石川県でオオタニシ上に着生。

**12. *Batrachospermum kushiroense*** Kumano et Ohsaki 1983: 153, figs. 1–22. 和名：クシロカワモズク (新称)。

文献：熊野 1996c: 8, 熊野 2000: 193, Kumano 2002: 190.  
 カテゴリー：絶滅危惧 I 類 (CR+EN), 新規選定。タイプ産地で絶滅。本来熱帯域に多いコントルタ節で唯一北海道釧路湿原の湧水中に生育していた種である。絶滅の原因は湿原中の排水路造成の影響を受けたためであろう。危機的状況。

タイプ産地：北海道釧路湿原釧路川の三日月湖, 止水池の水中の維管束植物または巻貝上に付着する。分布：日本固有種。日本のタイプ産地のみに分布していた。

**13. *Batrachospermum tortuosum* var. *majus* Kumano 1982a: 153, figs. 1–22. 和名：ヤエヤマカワモズク (香村 in 沖縄県 2006: 409).**

文献：熊野 1996e: 20, 熊野 2000: 184, Kumano 2002: 179, 香村 2006a: 409.

カテゴリー：絶滅危惧 I 類 (CR+EN), 新規選定。タイプ産地で絶滅。危機的状況。最後の報告からまだ 50 年経過していないので, 新たに CR+EN と選定した。

タイプ産地：日本沖縄県石垣島宮良川山地性溪流。分布：沖縄固有種。沖縄県沖縄本島に分布する。

**14. *Batrachospermum iriomotense* Kumano 1982a: 182, fig. 1, A–M, fig. 3, A–D. 和名：イリオモテカワモズク (香村 in 沖縄県 2006: 420).**

文献：熊野 1996b: 7, 熊野 2000: 196, Kumano 2002: 192, 香村 2006b: 420.

カテゴリー：絶滅危惧 I 類 (CR+EN), 新規選定。本種の西表島のタイプ産地は未確認, 沖縄県沖縄本島北部に第 2 の産地を発見, 危機的状況。

タイプ産地：日本沖縄県西表島後良川山地性小流。分布：東南アジア：マレーシア, Kedah 州, Kedah Peak に分布。日本ではタイプ産地の他, 沖縄本島に分布。

**15. *Batrachospermum gracillimum* W. West et G.S. West 1897. 和名：ミナミイトカワモズク (新称).**

文献：熊野 1996x: 7, 熊野 2000: 214, Kumano 2002: 212.

カテゴリー：絶滅危惧 I 類 (CR+EN), 新規選定。沖縄県沖縄本島は飛び地分布の北限地である。日本新産種。

タイプ産地：アフリカ, Angola, Andongo。分布：アフリカのタイプ産地のほか, 南米：ブラジル, Amazonas 州, Matto Grosso 州, パラナ Paraná 州に分布。日本新産種。日本では沖縄県沖縄本島に分布。

**16. *Batrachospermum mahlacense* Kumano et Bowden-Kerby 1986: 109, figs. 1–12. 和名：ミナミクロカワモズク (新称).**

文献：熊野 1996d: 10, 熊野 2000: 214, Kumano 2002: 212.

カテゴリー：絶滅危惧 I 類 (CR+EN), 新規選定。沖縄県沖縄本島の産地は熱帯性の本種の北限の生育地である。

タイプ産地：ミクロネシア, マリアナ諸島, Guam Island, Talofoto, Mahlac River。分布：タイプ産地の他, ミクロネシア：

西カロリン諸島, Palau, Ibobang。東南アジア：タイ国カンチャナブリ近郊に分布。日本新産種。日本では沖縄県沖縄本島に分布する。

ユタカカワモズク属 Genus *Sirodotia*

**17. *Sirodotia segawae* Kumano 1982c: 129: fig. 2, A–J. 和名：ニセカワモズク (瀬川 1939: 3033).**

文献：瀬川 1939: 3033, Kumano 1982c: 125, 熊野 1996a: 66, 環境庁 2000: 257, 熊野 2000: 227, Kumano 2002: 225.

カテゴリー：準絶滅危惧 (NT) → 絶滅危惧 I 類 (CR+EN)。タイプ産地で絶滅したかも知れない。危機的状況。CR+EN に 2 ランク格上げ。現時点で, 日本での本種の産地は皆無になっている。最後の報告からまだ 50 年経過していないので, CR+EN に選定した。

タイプ産地：日本京都府園部市瑠璃溪, 山腹の湿地。分布：日本固有種。タイプ産地のほか, 京都府京都市宝ヶ池でも絶滅。

**18. *Sirodotia yutakae* Kumano 1982c: 126, fig. 1, A–I. 和名：ユタカカワモズク (瀬川 1939: 3033).**

文献：瀬川 1939: 3033, Kumano 1982c: 125, 熊野 1996k: 75, 山岸 1998: 42, 環境庁 2000: 257, 熊野 2000: 227, Kumano 2002: 224, 兵庫県 2003: 308.

カテゴリー：準絶滅危惧 (NT) → 絶滅危惧 I 類 (CR+EN)。タイプ産地で絶滅。危機的状況。CR+EN に 2 ランク格上げ。今回はタイプ産地へ何度か赴いたが生育を確認できなかった。最後の報告からまだ 50 年経過していないので, CR+EN に選定した。

タイプ産地：日本兵庫県姫路市飾東町小原, 小流中の石に付着する。分布：日本固有種。タイプ産地のほか, 岩手県竜ヶ森の小流, 春子谷地でも発見できない。

**19. *Sirodotia sinica* Jao 1941: 267, pl. V, figs. 31–38. 和名：チュウゴクユタカカワモズク (新称).**

文献：Kumano 1982c: 125, 熊野 1996j: 74, 熊野 2000: 229, Kumano 2002: 227, 兵庫県 2003: 308.

カテゴリー：絶滅危惧 I 類 (CR+EN), 新規選定。日本新産地で絶滅。現時点で, 日本での本種の産地は皆無になっている。最後の報告からまだ 50 年経過していないので CR+EN に選定した。

タイプ産地：中国, 四川省, Po-sang, 池中。分布：東アジア：中国のタイプ産地。日本の兵庫県小野市山田川では絶滅。

**20. *Sirodotia suecica* Kylin 1912: 38, fig. 16 a–f. 和名：セイヨウユタカカワモズク (新称).**

文献：熊野 1977: 170–171, Kumano 1982c: 125, 熊野 1997e: 85, 山岸 1999: 102, 熊野 2000: 232, Kumano 2002: 230.

異名とその文献：*Sirodotia fennica* Skuja 1931b: 297, tab. 6, figs. 1–14, tab. 7, figs. 1–11; *S. acuminata* Skuja in Flint 1950: 755, figs. 7–12; *S. tenuissima* (Collins) Skuja ex Flint 1948: 431, figs. 25–28; *Batrachospermum vagum* (Roth) C. Agardh f. *tenuissimum* Collins 1895: 110; (*Sirodotia delicatula* Skuja として) Umezaki 1960: 208.

カテゴリー：絶滅危惧I類 (CR+EN)，新規選定。今回，新たな産地を発見し，2産地で生育が見られるが状況は決して良くない。

タイプ産地：スウェーデン，Osby，Skåne。分布：欧州：タイプ産地のほか，西アジア，大洋州：オーストラリア，ニュージーランド，北米：米国，カナダなど世界各地に広く分布。日本では京都府京都市沢の池，滋賀県草津市馬場町に分布。

チスジノリ目 Order Thorealess · チスジノリ科 Family Thoreaceae  
オキチモズク属 Genus *Nemalionopsis*

**21. *Nemalionopsis tortuosa* Yoneda et Yagi in Yagi & Yoneda 1940: 83, fig. 1, fig. 2, 1-8. 和名：オキチモズク (Yagi & Yoneda 1940: 83).**

文献：環境庁 1993: 88, 右田 1995a: 573, 中村 1996: 20, 右田・木村・坂本 1999: 10, 吉田 2000a: 220, 渡辺・碓井 2000: 41, 熊野 2000: 292, Kumano 2002: 290, 香村 2006d: 398.

カテゴリー：絶滅危惧I類 (CR+EN) → 絶滅危惧I類 (CR+EN)。最近，幾つかの新産地が発見されているが，用水路整備で依然危機的状況にある。ランク変化なし。

タイプ産地：日本愛媛県松山近郊お吉泉 (天然記念物指定地)。分布：日本のタイプ産地の愛媛県東温市お吉泉 (天然記念物指

定地) の他，福岡県，熊本県志津川 (天然記念物指地)，長崎県，鹿児島，沖縄県などに分布する。

チスジノリ属 Genus *Thorea*

**22. *Thorea hispida* (Thore) Desvaux 1808: 121. 和名：フトチスジノリ (新称).**

文献：熊野 2000: 283, Kumano 2002: 280.

異名とその文献：*Conferva hispida* Thore 1800: 398, fig. A; *Conferva flexuosa* Bory 1804: 336 非合法名; *Thorea ramosissima* Bory 1808b: 128 非合法名.

カテゴリー：絶滅危惧I類 (CR+EN)，新規選定。現存産地：今回の調査期間内に新たな生育地が報告 (茅根ら 2004) され，日本新産種である事が判明した。

タイプ産地：フランス L'Adour Riviere at Dax。分布：欧州：タイプ産地のほか，フランス，ベルギー，ドイツなど。日本新産種。日本では福島県，茨城県，群馬県に分布。

**23. *Thorea gaudichaudii* C. Agardh 1824: 56. 和名：シマチスジノリ (Yamada 1949: 155).**

文献：熊野 1977: 170, 環境庁 1993: 89, 香村 1996: 361,

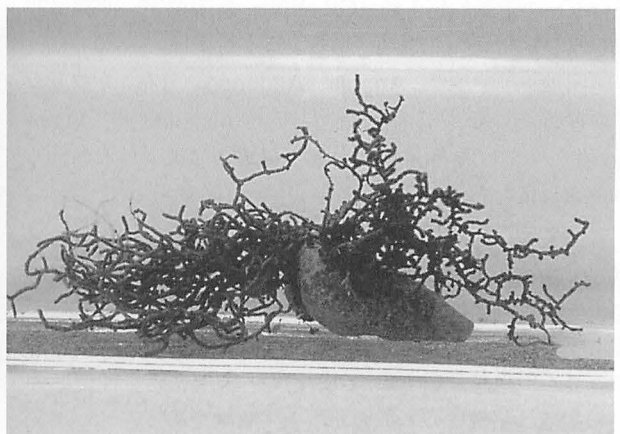


### 沖縄県のシマチスジノリの保護現状

沖縄県のシマチスジノリの確認場所は，現在にいたるまで，多くは湧井戸 (方言でカー，あるいはガー) に限定され，河川での生育は確認されていない。保護においては，ある面，湧井戸に生育出現していることでシマチスジノリが守られていると考えられる。なぜなら，上水道が未整備だった時代の村の湧井戸 (ムラガー) は，村人の大切な信仰の場所であり，洗濯や野菜洗いをしたり，馬や牛など家畜の水飲み場であるなど，生活の中で重要な場所でもあった。それゆえムラガーは，継続的にシマチスジノリの生育が確認できなくなっても，生活歴史の上での記念物に指定され，現在に至るまで地域の人々の手で大事に保全されてきた場所が多い。国の天然記念物に指定されている那覇市・識名園の育徳泉は琉球王朝時代から現代まで残る歴史的な場所で，県の天然記念物に指定されている今帰仁村・天底 (アミスク) ガーは村の生活歴史において重要な場所として認定され，いずれでも生育場所とシマチスジノリが共に指定されている。市町村天然記念物の宜野座村・大久保ガーや八重瀬町・屋富祖ガーなどについて同様である。今年 8 月 21 日に生育確認した今回の名護市仲尾次の親川又ガーについても，「ムラガー」として市の文化財指定を受けることで，シマチスジノリの保護を地域へ訴えることができるのではないかと考えている。 (沖縄県那覇市 久場安次)



名護市仲尾次の親川又ガーとここで確認された藻体



生きたカワニナに着生している藻体 (八重瀬町屋富祖ガー産)

中村 1996: 20, 山岸 1999: 103, 吉田 2000b: 221, 熊野 2000: 291, Kumano 2002: 286, 香村 2006c: 399.

カテゴリー：絶滅危惧 I 類 (CR+EN) → 絶滅危惧 I 類 (CR+EN)。湧水を使用していないガーでは危機にある。ランク変化なし。

タイプ産地：マイクロネシア，マリアナ諸島，グアム島 Pago River。分布：東アジア：タイプ産地のほかフィリッピン，セブ島。マイクロネシア：マリアナ諸島，グアム島 Ylig River, カロリン諸島ヤップ島に分布する。日本では沖縄県沖縄本島，識名園（育徳泉・天然記念物指定），屋富祖ガー，クチャガー，ンジュガー，大久保ガー，親川又ガー，ヒージャーガー，宮古島に分布する。

イギス目 Order Ceramiales・フジマツモ科 Family Rhodomelaceae  
コケモドキ属 Genus *Bostrychia*

24. *Bostrychia flagellifera* Post 1936: 1. 和名：フサコケモドキ（田中 1989: 15）。

文献：Post 1961: 101, Kumano 1988: 237, 熊野 1997c: 22, King & Puttock 1989: 1, Zuccarello & West 2006: 24, 熊野 2000: 320, Kumano 2002: 318.

異名とその文献：*Bostrychia tenella* spp. *flagellifera* King et Puttock 1989: 1, 田中 1995: 20.

カテゴリー：絶滅危惧 II 類 (VU) 新規選定。Zuccarello & West (2006) は本分類群を独立種の *B. flagellifera* とした。

タイプ産地：大洋州：豪州，Sydney, Paramatts River。分布：アジア：インド洋，東アジア：大洋州：豪州，ニュージーランドなどの海水域，汽水域に分布する。日本の淡水域では，鹿児島県桜島園ヶ池と広島県宮島に分布する。

## 2. 絶滅危惧 II 類 (Vulnerable) 6 種

オオイシソウ属 Genus *Compsopogon*

1. *Compsopogon coeruleus* (Balbis) Montagne 1846: 154.

和名：オオイシソウ（岡村 1915: 128, 133）。

文献：環境庁 1993: 89, 吉崎 1996: 367, 宮崎県 2000: 192, 吉田 2000f: 253, 熊野 2000: 33, Kumano 2002: 33, 兵庫県 2003: 308, 香村 2006f: 408.

異名とその文献：*Conferva coerulea* Balbis in C. Agardh 1824: 122; *Compsopogon oishii* Okamura 1915: 128, pl. 132–133, オオイシソウ 岡村 1915: 218, 熊野 1977: 162, 中村 1984d: 7, 瀬戸 1993a: 170–171, 兵庫県 1995: 218, 中村 1996: 20, 山岸 1999: 100, 吉崎・出井 2005b: 408.

カテゴリー：絶滅危惧 II 類 (VU) → 絶滅危惧 II 類 (VU)。現存産地：オオイシソウ属の中では，最も普遍的に生育が見られる種である。ランク変化なし。

タイプ産地：*C. coeruleus* のタイプ産地：中米のカリブ海，大アンチル諸島，Puerto Rico, Bertero. *C. oishii* のタイプ産地：東京都多摩川矢の口，泉からの流れ中。分布：*C. coeruleus* は中米のタイプ産地の他に，大洋州のオーストラリア，東アジアの中国に分布する。*Compsopogon oishii* は日本のタイプ産地の他に，北海道，青森県，福島県，埼玉県，群馬県，茨城県，

千葉県，神奈川県，三重県，滋賀県，香川県，熊本県，鹿児島県，沖縄県など。

カワモズク目 Order Batrachospermales・カワモズク科 Family Batrachospermaceae

カワモズク属 Genus *Batrachospermum*

カワモズク節 Section *Batrachospermum*

2. *Batrachospermum gelatinosum* (Linnaeus) De Candolle 1801: 21 emend. Vis et al. 1995: 52. 和名：カワモズク（大野 1899: 10）。

文献：兵庫県 1995: 218, 環境庁 2000: 257, 熊野 2000: 87, Kumano 2002: 86, 兵庫県 2003: 308, 安達 2004b: 183.

以下の異名はおおむね Vis et al. (1995) に従った。

異名とその文献：*Conferva gelatinosa* Linnaeus 1753: 1166; *B. ludibundum* var. *pulcherrimum* Bory 1808a: 323; *B. ludibundum* var. *caerulescens* Bory 1808a: 324; *B. moniliforme* f. *lipsiensis* Rabenhorst 1868: 405; *B. moniliforme* var. *pisanum* Arcangeli 1882: 156; *B. moniliforme* var. *chlorosum* Sirodot 1884: 211, pl. I, fig. 3; *B. moniliforme* var. *typicum* Sirodot 1884: 211, pl. III, fig. 1 非合法名，カワモズク 大野 1899: 10; Mori 1975: 473, 熊野 1977: 164–165, 山岸 1999: 102; *B. moniliforme* var. *rubescens* Sirodot 1884: 212, pl. I, fig. 1–2, 森 1985d: 7; *B. moniliforme* var. *helminthoideum* Sirodot 1884: 212, pl. IV, figs. 1–2; *B. moniliforme* var. *scopula* Sirodot 1884: 213, pl. IX, figs. 1–5; *B. decaisneanum* Sirodot 1884: 214, pl. I, fig. 4, pl. X, figs. 1–10. ヒラカワモズク Mori 1975: 471, 森 1985a: 7; *B. radians* Sirodot 1884: 218, pl. I, fig. 5, pl. II, fig. 4, 6–13, Mori 1975: 470, 森 1984d: 10; *B. reginense* Sirodot 1884: 219, pl. XV, fig. 5, pl. XVI, figs. 6–10, ベニカワモズク Mori 1975: 471; *B. corbula* Sirodot 1884: 226, pl. V, figs. 1–3, pl. VI, figs. 9–11; *B. densum* Sirodot 1884: 228, pl. XII, figs. 1–2, pl. XIII, figs. 1–11, pl. XIV, figs. 1–8; *B. pygmaeum* Sirodot 1884: 230, pl. XIX, figs. 1–7; *B. pyramidale* Sirodot 1884: 232, pl. XV, figs. 1–4, pl. XVI, figs. 1–5, pl. XVII, figs. 1–6, 非合法名; *B. godronianum* Sirodot 1884: 235, pl. XVIII, fig. 1–9, コカワモズク Mori 1975: 470, 森 1985b: 8; *B. moniliforme* var. *isoeticola* Skuja 1928: 205; *B. corbula* var. *alcoense* Reis 1954: 70; *B. arcuatoideum* Reis 1973: 139, tab. I, a–c; *B. moniliforme* var. *obtrullatum* Kumano et Watanabe 1983: 89, figs. 14–17, 18–27; *B. moniliforme* var. *trullatum* Shi et al. 1994: 211, pl. 1, 1–4, pl. II, 1–6.

カテゴリー：準絶滅危惧 (NT) → 絶滅危惧 II 類 (VU)。灌漑用水系の源流である湧水に生育している本種は，圃場整備の影響をもちに受け産地減少が著しい。VU に 1 ランク格上げした。

タイプ産地：a locality in northern Europe。分布：欧州：フランス，ドイツ，イタリア，ポーランド，ポルトガル，ベルギー，スウェーデン。アジア：インド，イラク。東アジア：中国，韓国。豪州，南米，北米：北は米国 Alaska 州，Rhode Island 州や Baffin Island, カナダ Yukon 地方，Newfoundland 州。南は Texas 州

や Louisiana 州に分布する。日本では東京都、千葉県、愛知県、福井県、兵庫県、岡山県、愛媛県など各地に分布する。

**3. *Batrachospermum japonicum* Mori 1975: 470, pl. III, 1–12.** 和名：ニホンカワモズク (Mori 1975: 470).

文献：Mori 1975: 470, 森 1985: 6, 山岸 1998: 43, Yoshizaki 2002: 121, 吉崎・出井 2005d: 409.

カテゴリー：絶滅危惧 II 類 (VU), 新規選定。本種はツマグロカワモズクとは反対に、関東以北の東日本に分布する。

タイプ産地：栃木県足利市南大町芋森明神宮 弘法の池。分布：日本固有種。岩手県、秋田県、山形県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、兵庫県に分布する。

ホソカワモズク節 Section *Turfosa*

**4. *Batrachospermum turfosum* Bory 1808: 327 emend. Sheath, Vis et Cole 1994: 882, figs. 18–19.** 和名：ホソカワモズク (Mori 1975: 466).

文献：兵庫県 1995: 218, 環境庁 2000: 257, 熊野 2000: 143, Kumano 2002: 141, 兵庫県 2003: 308, 安達 in 福井県 2004d: 189.

異名とその文献：*Chara gelatinosa* var. *vaga* Roth 1797; *B. vagum* (Roth) C. Agardh 1812: 41, 熊野 1977: 168; *B. keratophytum* Bory 1808a: 312, ホソカワモズク Mori 1975: 466; フタマタカワモズク 吉崎・出井 2005a: 407, *B. moniliforme* var. *vagum* Roth 1800: 482; *B. vagum* var. *undulatopedicellatum* Kumano et Watanabe 1983: 87, figs. 1–13.

カテゴリー：準絶滅危惧 (NT) → 絶滅危惧 II 類 (VU)。高山の池塘、低地の湿地にのみ生育する希少種。特に低地の湿地の開発等で急速に適地が減少している。VU に 1 ランク格上げした。

タイプ産地：フランス, Dax 近傍。分布：欧州：フランス, アイルランド, ポルトガル, ベルギー, スウェーデン, アジア：インド, 東アジア, 大洋州：パプアニューギニア高地, 北米：カナダ, 米国, 南米：ブラジルに分布する。日本では、北海道, 秋田県, 福島県, 栃木県, 長野県, 福井県など各地の貧栄養、腐植栄養の水域に生育する。

アリストタ節 Section *Aristata*

**5. *Batrachospermum turgidum* Kumano 1982b: 291, fig. 2, A–L, fig. 3.** 和名：タニガワカワモズク (新称)。

文献：熊野 1996f: 22, 熊野 2000: 167, Kumano 2002: 166.

カテゴリー：絶滅危惧 II 類 (VU), 新規選定。山間の谷川に生育する。河川改修, ダム工事に伴う河床環境の変化をもろに受ける場所に生育している。

タイプ産地：日本三重県御在所岳北谷。分布：日本固有種。岐阜県などに分布する。

チスジノリ目 Order Thoreales・チスジノリ目 Family Thoreaceae  
チスジノリ属 Genus *Thorea*

**6. *Thorea okadae* Yamada 1949: 158, figs. 1–3.** 和名：チ

スジノリ (岡村 1921: 85, 87).

文献：中村・千原 1977a: 159, 熊野 1977: 170, 中村 1980: 249, 中村 1984f: 96, 瀬戸ら 1993: 355, 環境庁 1993: 89, 吉崎 1993: 226, 右田 1995b: 357, 中村 1996: 20, 山岸 1998: 43, 山岸 1999: 103, 吉田 2000d: 251, 熊野 2000: 283, Kumano 2002: 282, 兵庫県 1995: 218, 兵庫県 2003: 308.

カテゴリー：絶滅危惧 II 類 (VU) → 絶滅危惧 II 類 (VU)。河川改修整備で危機にある。ランク変化なし。

タイプ産地：日本鹿児島県川内川菱刈町 (天然記念物指定地)。分布：日本固有種。日本の埼玉県備前堀川などでは絶滅した。現在、兵庫県安室川, 広島県関川, 福岡県矢部川・筑後川, 熊本県矢形川・菊池川 (天然記念物指定地), 宮崎県・鹿児島県川内川 (鹿児島県：天然記念物指定地), 鹿児島県天降川などに分布する。

**3. 準絶滅危惧 (Near Threatened) 5 種**

カワモズク目 Order Batrachospermales・カワモズク科 Family Batrachospermaceae

カワモズク属 Genus *Batrachospermum*

ヘルミントイデア節 Section *Helminthoidea*

**1. *Batrachospermum arcuatum* Kylin 1912: 22, fig. 7a–e emend. Vis et al. 1995: 52.** 和名：チャイロカワモズク (新称)。

文献：熊野 2000: 95, Kumano 2002: 9, 兵庫県 2003: 308, 安達 2004e: 188.

異名とその文献：*B. stagnale* (Bory) Hassal 1845, 兵庫県 1995: 218, 環境庁 2000: 257; *B. anatinum* Sirodot 1884: 249, pl. XXXII, f. 1–7, pl. XXXIII, f. 1–4, emend. Vis et al. 1995: 54; *B. ectocarpum* Sirodot 1884, 222, pl. VII, f. 1–5, pl. VIII, f. 1–7, 非合法名, ナツノカワモズク Mori 1975: 473, 熊野 1977: 164–165, 森 1984c: 9, 宮崎県 2000: 193, 環境庁 2000: 257.

カテゴリー：準絶滅危惧 (NT) → 準絶滅危惧 (NT)。日本のカワモズク属の中では、最も普遍的に水路などに見られる種である。用水路整備で減少傾向にある。ランク変化なし。

タイプ産地：スウェーデン, Hör, Skane。分布：欧州：タイプ産地のほかスウェーデン, ベルギー, クリミア, ポーランド, ポルトガル。東アジア, 大洋州：豪州, 北米：米国, メキシコまで分布する。日本では、北海道, 東京都, 茨城県, 福井県, 大阪府, 兵庫県, 香川県, 愛媛県, 沖縄県など多数の産地に分布する。

アオカワモズク節 Section *Virescentia*

**2. *Batrachospermum helminthosum* Bory 1808a: 316 emend. Sheath, Vis et Cole 1994: 115, figs. 3–10 (non *B. helminthosum* Sirodot 1884: 240).** 和名：アオカワモズク (斎田 1910)。

文献：宮崎県 2000: 193, 環境庁 2000: 257, 熊野 2000: 155, Kumano 2002: 152, 兵庫県 2003: 308, 安達 2004e: 183, Hanyuda et al. 2004: 581.

異名は Sheath, Vis et Cole (1994) に従った。異名とその文献：*B. graibussoniense* Sirodot 1884: 278, pl. XLVII, figs. 1–10, pl.

XLVIII, figs. 1–6, 熊野 1977: 166–167; *B. bruziense* Sirodot 1884: 281, pl. XLV, figs. 1–7, pl. XLVI, figs. 1–8, タニカワモズク Mori 1975: 467, 森 1984a: 7; *B. testale* Sirodot 1884: 284, pl. XLII, figs. 1–5, pl. XLIII, figs. 1–8, 熊野 1977: 166, 兵庫県 1995: 218, 環境庁 2000: 257; *B. virgatum* Sirodot 1884: 286, pl. XLIV, figs. 1–6, pl. L, figs. 1–5, 非合法名, アオカワモズク Mori 1975: 467, 熊野 1977: 166 環境庁 2000: 257; *B. sirodotii* Skuja ex Flint 1950: 775, figs. 13–20, 兵庫県 1995: 218, 熊野 1997b: 12, 環境庁 2000: 257; *B. elegans* Sirodot 188: 274, pl. XLIV, f. 1–3; *B. coerulea* Sirodot 1884: 270, ミドリカワモズク Mori 1975: 468, 森 1984b: 8, 環境庁 2000: 257.

カテゴリー：準絶滅危惧 (NT) → 準絶滅危惧 (NT)。日本のカワモズクの代表種。用水路整備で減少傾向にある。ランク変化なし。

タイプ産地：フランス, Riviere de Coesne, à Fougères. 分布：欧州：フランス, ベルギー, ドイツ, イタリア, ポーランド, ポルトガル, スウェーデン, アジア：インド, 東アジア：中国, 韓国, 大洋州：豪州, 北米：カナダ, 米国, 南米：ブラジルに分布する。日本では, 北海道, 茨城県, 千葉県, 愛知県, 兵庫県, 香川県, 愛媛県, 福岡県, 熊本県, 宮崎県など各地の多数の産地に分布する。

ベニマダラ目 Order Hildenbrandiales・ベニマダラ科 Family Hildenbrandiaceae

ベニマダラ属 Genus *Hildenbrandia*

3. *Hildenbrandia rivularis* (Liebmann) J. Agardh 1851: 379. 和名：タンスイベニマダラ (吉崎 1998: 242).

文献：瀬戸・広瀬・熊野 1974: 10, 熊野 1977: 172, 兵庫県 1995: 218, 山岸 1998: 43, 山岸 1999: 104, 宮崎県 2000: 194, 熊野 2000: 294, Kumano 2002: 293, 瀬戸 1993b: 270, 兵庫 2003: 30, 吉崎・出井 2005e: 410, 香村 2006g: 421, ベニマダラ 安達 2004a: 183.

異名とその文献：*Erythroclathrus rivularis* Liebmann 1839: 174.

カテゴリー：準絶滅危惧 (NT) → 準絶滅危惧 (NT)。産地のうち幾つかは名水百選に選定。ランク変化なし。

タイプ産地：デンマーク, Sjaeland, Kongens Møller にある流れ。分布：欧州：デンマーク, ポーランド, ベルギー。アフリカ：コンゴ。東アジア：中国, 東南アジア：マレーシア, インドネシア。大洋州：豪州, 中米：ヴェネズエラ, ジャマイカ。北米など世界各地に分布する。日本では, 栃木県, 千葉県, 岐阜県, 福井県, 京都府, 兵庫県, 香川県, 福岡県, 宮崎県など多数の産地に分布する。

イギス目 Order Ceramiales・フジマツモ科 Family Rhodomelaceae  
コケモドキ属 Genus *Bostrychia*

4. *Bostrychia simpliciuscula* Harvey ex J. Agardh 1863: 354. 和名：タニコケモドキ (岡村 1902).

文献：時田 1939: 522, 田中 1989: 15, 田中 1995: 20, 環境庁 2000: 257, 熊野 2000: 294, Kumano 2002: 293, 香村 2006i: 426.

異名とその文献：*Bostrychia andoi* Okamura 1907: 258; *Bostrychia tenuis* f. *simpliciuscula* (Harvey) Post 1936: 22, 時田 1941: 49, Kumano 1979: 13, 熊野 1996h: 25; *Bostrychia hamana-tokidae* Post 1941: 208.

カテゴリー：準絶滅危惧 (NT) → 準絶滅危惧 (NT)。淡水域では稀である。ランク変化なし。

タイプ産地：マイクロネシア, Tonga, Friendly Islands. 分布：西太平洋, インド洋, インドネシア, ポリネシアなどの汽水域, 淡水域に分布。日本の汽水域では宮城県, 福島県, 千葉県, 三重県, 京都府, 山口県, 宮崎県, 熊本県, 岡山県, 大分県, 鹿児島県, 沖縄県など。淡水域では, 沖縄本島, 石垣島などに生育する。

コノハノリ科 Family Delesseriaceae

アヤギヌ属 Genus *Caloglossa*

5. *Caloglossa ogasawaraensis* Okamura 1897: 13. f. A–D. 和名：ホソアヤギヌ (岡村 1908: 183, 185).

文献：熊野 1996i: 26, 環境庁 2000: 257, 熊野 2000: 303, Kumano 2002: 304, 香村 2006h: 424.

異名とその文献：*Delesseria zanibariensis* Goebel 1898: 65. f. 1–6; *Caloglossa zanzibariensis* (Goebel) De Toni 1900: 731, 1924: 357; *Caloglossa bombayensis* Børgesen 1933: 127, f. 10–12.

カテゴリー：準絶滅危惧 (NT) → 準絶滅危惧 (NT)。淡水域では稀である。ランク変化なし。

タイプ産地：日本東京都小笠原諸島, 父島。分布：汽水域では, 温帯域を中心に, アフリカ西部, アジア, ミクロネシア, 豪州東部。中米：コスタリカの潮間帯, 時に淡水域にも分布する。淡水域では, インド, マレーシアに分布する。日本の汽水域では岩手県, 茨城県, 千葉県, 東京都, 愛知県, 三重県, 福井県, 京都府, 島根県, 大阪府, 愛媛県, 高知県, 長崎県, 鹿児島県, 沖縄県など多くの産地に分布する。日本の淡水域では, タイプ産地のほか, 熊本県, 鹿児島県, 沖縄県沖縄本島の河川, 石垣島大滝など少数の産地に分布する。

## 謝辞

飯間雅文 (長崎大学), 小幡和男 (茨城県自然博物館), 河地正伸 (国立環境研究所), 久場安次, 小林真吾 (愛媛県総合科学博物館), 田川伸一 (熊本県立湧心館高校), 富永孝昭 (栃木県立博物館), 比嘉清文, 横田昌嗣 (琉球大学) (五十音順) (敬称略) など多くの方々から産地情報, 標本の提供を受けた。心から御礼を申し上げる。

## 引用文献

- 安達 誘 2004a. ベニマダラ. In: 福井県 (編) 2004. 福井県の絶滅のおそれのある野生生物 福井県レッドデータブック (植物編). 福井. 183, pl. 77.  
安達 誘 2004b. カワモズク. In: 福井県 (編) 2004. 福井県の絶滅のおそれのある野生生物 福井県レッドデータブック (植物編). 福井. 183, pl. 77.  
安達 誘 2004c. アオカワモズク. In: 福井県 (編) 2004. 福井県の

- 絶滅のおそれのある野生生物 福井県レッドデータブック (植物編). 福井, 183, pl. 78.
- 安達 誘 2004d. ホソカワモズク. In: 福井県 (編) 2004. 福井県の絶滅のおそれのある野生生物 福井県レッドデータブック (植物編). 福井, 189, pl. 78.
- 安達 誘 2004e. *Batrachospermum arcuatum*. In: 福井県 (編) 2004. 福井県の絶滅のおそれのある野生生物 福井県レッドデータブック (植物編). 福井, 188.
- Agardh, C. A. 1824. Systema algarum. Lund. XXXVIII + 312 pp.
- Agardh, J. G. 1847. Nya alger från Mexico. Öfvers. Förh. Kongl. Svenska Vetensk.-Akad. 4: 5-17.
- Agardh, J. G. 1851-1863. Species genera et ordines algarum... Vol. 2. Lund. XII + 1291 pp. [Part 1, pp. [I]-XII + [1]-336 + 337-351 (Addenda and Index) (1851); part 2, fasc. 1, pp. 337-504 (1851); part 2, fasc. 2, pp. 505-700 + 701-720 (Addenda and Index) (1852); part 3, fasc. 1, pp. 701-786 (1852); part 3, fasc. 2, pp. 787-1291 (1139-1158 omitted) (1863).
- Agardh, J. G. 1854. Nya algerformer. Öfvers. Förh. Kongl. Svenska Vetensk.-Akad. 11: 107-111.
- Arcangeli, G. 1882. Sopra alcune specie di *Batrachospermum*. Nuovo Giorn. Bot. Ital. 14: 155-167.
- Bory de Saint-Vincent, J. B. 1804. Voyage dans les quatre principales îles des mers d'Afrique... Paris. Vol. 2. 431 pp.
- Bory de Saint-Vincent, J. B. 1808a. Mémoire sur le genre *Batrachosperma*, de la famille des Conferves. Ann. Mus. Hist. Nat. 12: 310-332.
- Bory de Saint-Vincent, J. B. 1808b. Mémoire sur un genre nouveau de la cryptogamie aquatique, nommé Thorea. Ann. Mus. Hist. Nat. 12: 126-135.
- Børgeesen, F. 1933. Some Indian Rhodophycean especiallt from the shores of the Presidency of Bombay. III. Bull. Musc. Inform. 1933: 133-142.
- Chihara, M. 1976. *Compsopogonopsis japonica*, a new species of freshwater red algae. J. Jpn. Bot. 51: 289-294.
- 千原光雄・中村 武 1975. 紅藻オオイシソウモドキ属の日本における生育. 藻類 23: 150-152.
- Chihara, M. & Nakamura, T. 1980. *Compsopogon corticrassus*, a new species of fresh water red alga (Compsopogonaceae, Rhodophyta). J. Jap. Bot. 55: 136-144.
- 茅根重夫・小幡和男・羽生田岳昭・熊野 茂・鈴木昌友 2004. 東仁連川と菅生沼でチスジノリ属の一種 (紅藻植物) の生育を確認. 茨城県自然博物館研究報告 7: 197-201.
- Collins, F. S., Holden, I. & Setchell, W. A. 1895-1919. Phycotheca boreali-americana. Malden, Massachusetts. Fasc. I-XLVI + A-E, nos. 1-2300 + I-CXXV. [Exsiccata with printed labels.]
- De Candolle, A. P. 1801. Extrait d'un rapport sur les Conferves, fait à la Société philomathique. Bull. Sci. Soc. Philom. Paris 3: 17-21.
- De Toni, G. B. 1900. Sylloge algarum.... Vol. IV. Florideae Sectio II, Padova. pp. 378-774+776 (Index).
- Desvaux, N. A. 1808. Extrait des Annales du Muséum d'Histoire naturelle, sur les genres *Thorea* et *Lemanea*, de M. Bory de Saint-Vincent. J. Bot. (Desvaux) 1: 121-125.
- Flint, L. H. 1948. Studies of fresh-water red algae. Amer. J. Bot. 35: 428-433.
- Flint, L. H. 1950. Studies of freshwater red algae. Amer. J. Bot. 37: 754-757.
- Flint, L. H. 1953. Two new species of *Batrachospermum*. Proc. Louisiana Acad. Sci. 16: 10-15.
- 福井県 (編) 2004. 福井県の絶滅のおそれのある野生生物 福井県レッドデータブック (植物編). 福井.
- Geitler, L. 1944. Ein neues einheimisches *Batrachospermum* sowie Beobachtungen an anderen einheimischen *Batrachospermum*-Arten. Wiener Bot. Z. 93:127-137.
- Goebel, K. 1898. Morphologische und biologische Bemerkungen. 6. Über enige Süßwasserfloridae Britische-Guyana. Flora 83:436-444.
- Hanyuda, T., Suzawa, Y., Suzasa, T., Arai, S., Sato, H., Ueda, K. & Kumano, S. 2004. Biogeography and taxonomy of *Batrachospermum helminthosum* (Batrachospermales, Rhodophyta) in Japan inferred from *rbcL* gene sequences. J. Phycol. 40: 581-588.
- Harvey, W. H. 1841. A manual of the British Algae. London.
- Hassall, A. H. A history of the British freshwater algae, London.
- Howard, R. V. & Parker, B. C. 1997. *Nemalionopsis shawii* forma *caroliniana* (forma nov.) (Rhodophyta: Nemaliales) from the southeastern United States. Phycologia 18: 330-337.
- 兵庫県 (編) 1995. 兵庫の貴重な自然—兵庫県版レッドデータブック—, 神戸.
- 兵庫県 (編) 2003. 改訂・兵庫の貴重な自然—兵庫県版レッドデータブック 2003—, 神戸.
- Jao, C. C. 1941. Studies on the freshwater algae of China. VIII. A preliminary account of the Chinese freshwater Rhodophyceae. Sinensia 12: 245-290.
- Kamiya, M., West, J. A. & Hara, Y. 1994. Reproductive structures of *Bostrychia simpliciuscula* (Ceramiales, Rhodophyceae) in the field and in culture. Jpn. J. Phycol. 42: 165-174.
- 香村真徳 1996. シマチスジノリ, 日本の稀少な野生生物に関する基礎資料 (III), 分冊 VI, 水生植物, 日本水産資源保護協会, pp. 361-366.
- 香村真徳 2006a. ヤエヤマカワモズク. In: 沖縄県 (編) 2006. 改定・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (菌類編・植物編)—レッドデータおきなわ—. 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇, 409.
- 香村真徳 2006b. イリオモテカワモズク. In: 沖縄県 (編) 2006. 改定・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (菌類編・植物編)—レッドデータおきなわ—. 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇, 420.
- 香村真徳 2006c. オオイシソウモドキ. In: 沖縄県 (編) 2006. 改定・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (菌類編・植物編)—レッドデータおきなわ—. 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇, 398.
- 香村真徳 2006d. オキチモズク. In: 沖縄県 (編) 2006. 改定・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (菌類編・植物編)—レッドデータおきなわ—. 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇, 398.
- 香村真徳 2006e. シマチスジノリ. In: 沖縄県 (編) 2006. 改定・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (菌類編・植物編)—レッドデータおきなわ—. 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇, 399.
- 香村真徳 2006f. オオイシソウ. In: 沖縄県 (編) 2006. 改定・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (菌類編・植物編)—レッドデータおきなわ—. 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇, 408.
- 香村真徳 2006g. タンスイベニマダラ. In: 沖縄県 (編) 2006. 改定・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (菌類編・植物編)—レッドデータおきなわ—. 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇, 421.
- 香村真徳 2006h. ホソアヤギヌ. In: 沖縄県 (編) 2006. 改定・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (菌類編・植物編)—レッドデータおきなわ—. 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇, 424.
- 香村真徳 2006i. タニコケモドキ. In: 沖縄県 (編) 2006. 改定・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (菌類編・植物編)—レッドデータおきなわ—. 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇, 426.
- 環境庁 (編) 1993. 緊急の保護を要する動植物の種の選定調査報告書—菌類・地衣類・藻類・蘚苔類編—, 自然環境研究センター, 東京.
- 環境庁 (編) 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック, 植物 II (維管束植物以外) 蘚苔類・藻類・地衣類・菌類, 自然環境研究センター, 東京.
- King, R. J. & Puttock, C. 1989. Morphology and taxonomy of *Bostrychia* and *Stictosiphonia* (Rhodomelaceae, Rhodophyta)



- Aust. Syst. Bot. 2: 1–73.
- 熊野 茂 1977. 紅藻綱. In: 広瀬・山岸(編)淡水藻類図鑑. 内田老鶴圃, 東京.
- Kumano, S. 1979. Morphological study of nine taxa of *Bostrychia* (Rhodophyta) from Southwestern Japan, Hong Kong and Guam. *Micronesica* 15: 13–33.
- Kumano, S. 1982a. Two taxa of the Section *Contorta* of the genus *Batrachospermum* (Rhodophyta, Nemalionales) from Iriomote Jima and Ishigaki Jima, subtropical Japan. *Jpn. J. Phycol.* 30: 181–187.
- Kumano, S. 1982b. Four taxa of the sections *Moniliformia*, *Hybrida* and *Setacea* of the genus *Batrachospermum* (Rhodophyta, Nemalionales) from temperate Japan. *Jap. J. Phycol.* 30: 289–296.
- Kumano, S. 1982c. Development of carpogonium and taxonomy of six species of the genus *Sirodotia*, Rhodophyta, from Japan and West Malaysia. *Bot. Mag. Tokyo* 95: 125–137.
- Kumano, S. 1988. Sexual reproductive organs of *Bostrychia flagellifera* Post (Ceramiales, Rhodophyta) from Japan. *Jpn. J. Phycol.* 36: 237–240.
- 熊野 茂 1996a. *Sirodotia segawae*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 16 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 66.
- 熊野 茂 1996b. *Batrachospermum iriomotense*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 17 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 7.
- 熊野 茂 1996c. *Batrachospermum kushiroense*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 17 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 8.
- 熊野 茂 1996d. *Batrachospermum mahalacense*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 17 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 10.
- 熊野 茂 1996e. *Batrachospermum tortuosum* var. *majus*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 17 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 20.
- 熊野 茂 1996f. *Batrachospermum turgidum*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 17 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 22.
- 熊野 茂 1996g. *Batrachospermum virgato-decaisneanum*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 17 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 23.
- 熊野 茂 1996h. *Bostrychia tenuis* f. *simpliciusculae*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 17 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 25.
- 熊野 茂 1996i. *Caloglossa ogasawaraensis* var. *ogasawaraensis*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 17 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 26.
- 熊野 茂 1996j. *Sirodotia sinica*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 17 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 74.
- 熊野 茂 1996k. *Sirodotia yutakae*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 17 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 75.
- 熊野 茂 1997a. *Batrachospermum atrum*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 18 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 8.
- 熊野 茂 1997b. *Batrachospermum sirodotii*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 18 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 12.
- 熊野 茂 1997c. *Bostrychia flagellifera*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 18 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 15.
- 熊野 茂 1997d. *Composopogon prolificus*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 18 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 22.
- 熊野 茂 1997e. *Sirodotia suecica*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 18 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 85.
- 熊野 茂 1998a. *Banga atropurpurea* (Roth) Agardh. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 19 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 9.
- 熊野 茂 2000. 世界の淡水産紅藻. 内田老鶴圃, 東京.
- Kumano, S. 2002. *The Freshwater Red Algae from the World*. Biopress, Bristol, UK.
- Kumano, S. & Bowden-Kerby, W. A. 1986. Studies on the freshwater Rhodophyta of Micronesia. I. Six new species of *Batrachospermum* Roth. *Jpn. J. Phycol.* 34: 107–128.
- Kumano, S. & Ohsaki, M. 1983. *Batrachospermum kushiroense* sp. nov. (Rhodophyta, Nemalionales) from Kushiro Moor in cool temperate Japan. *Jpn. J. Phycol.* 31: 156–160.
- Kumano, S. & Watanabe, M. 1983. Two new varieties of *Batrachospermum* (Rhodophyta) from Mt. Albert Edward, Papua New Guinea. *Bull. Natl. Sci. Mus. [Tokyo], Ser. B*, 9: 85–94.
- Kützing, F. T. 1849. *Species algarum*. Leipzig. VI + 922 pp.
- Kützing, F. T. 1857. *Tabulae phycologicae...* Vol. 7. Nordhausen. II + 40 pp., 100 pls.
- Kylin, H. 1912. Studien über die schwedischen Arten der Gattungen *Batrachospermum* Roth und *Sirodotia* nov. gen. *Nova Acta Regiae Soc. Sci. Upsal.*, ser. 4, 3(3). 40 pp.
- Liebmann, F. 1839. Om et not Erythroclathrus af Algernes familie Krøy. *Nat. Tidskr.*, 169–175.
- Linnaeus, C. 1753. *Species plantarum...* Vol. 2. Stockholm. Pp. 561–1200.
- Matsumura, N. 1895. Enumeration of selected scientific names of both native and foreign plants, with Romanized names, and in many cases Chinese characters. ed. 3. Tokyo. (in Japanese)
- Meneghini, G. 1841. Lettera del Prof. Giuseppe Meneghini al Dott. Corinaldi. *Giorn. Tosc. Sci. Med.* 1: 186–189.
- 右田清治 1995a. オキチモズク. 日本の稀少な野生生物に関する基礎資料 (II). 分冊 VI. 水生植物. 日本水産資源保護協会. pp. 573–575.
- 右田清治 1995b. チスジノリ. 日本の稀少な野生生物に関する基礎資料 (III). 分冊 VI. 水生植物. 日本水産資源保護協会. pp. 357–360.
- 右田清治・木村キワ・坂本 治 1999. 紅藻オキチモズクの二新産地について. *長崎生物学会誌* 50: 10–15.
- 宮崎県 2000. 宮崎県版レッドデータブック 宮崎県の保護上重要な野生生物.
- Montagne, C. 1846. Ordo I. Phyceae. In Durieu de Maisonneuve, M. C., *Exploration scientifique de l'Algérie pendant les années 1840, 1841, 1842...* Sciences physiques. Botanique. Cryptogamie. Paris. Pp. [1]–197.
- Montagne, C. 1850. *Cryptogamia Guyanensis seu Plantarum cellularium in Guyana gallica annis 1835–1849 a cl. Leprieur collectarum enumerato universalis*. *Ann. Sc. Nat. Bot.* ser. 3. 14: 283–309.
- Mori, M. 1975. Studies on the genus *Batrachospermum* in Japan. *Jap. J. Bot.* 20: 461–485.
- 森 通保 1984a. *Batrachospermum bruziense*. In: 山岸高旺, 秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 1 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 7.
- 森 通保 1984b. *Batrachospermum coerulescens*. In: 山岸高旺, 秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 1 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 8.
- 森 通保 1984c. *Batrachospermum ectocarpum*. In: 山岸高旺, 秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 1 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 9.
- 森 通保 1984d. *Batrachospermum radicans*. In: 山岸高旺, 秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 1 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 10.
- 森 通保 1985a. *Batrachospermum decaisneanum*. In: 山岸高旺, 秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 3 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 7.
- 森 通保 1985b. *Batrachospermum godronianum*. In: 山岸高旺, 秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 3 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 8.
- 森 通保 1985c. *Batrachospermum japonicum*. In: 山岸高旺, 秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 4 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 6.
- 森 通保 1985d. *Batrachospermum rubescens*. In: 山岸高旺, 秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 4 卷. 内田老鶴圃, 東京. p. 7.
- Müller, K. M., Sheath, R. G., Vis, M. I., Grease, T. J. & Cole, K. M. 1998. Biogeography and systematics of *Bangia* (Bangiales,

- Rhodophyta) based on the RuBisCo spacer, *rbcL* gene and 18S rRNA gene sequences and morphometric analysis. I. North America. *Phycologia* 37: 195–207.
- 中村 武 1980. 関東産チスジノリ属藻類について. *藻類* 28: 249–254.
- 中村 武 1984a. *Compsopogon aeruginosus*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 1巻. 内田老鶴圃. 東京. p. 24.
- 中村 武 1984b. *Compsopogon corticrassus*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 1巻. 内田老鶴圃. 東京. p. 25.
- 中村 武 1984c. *Compsopogon hookeri*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 1巻. 内田老鶴圃. 東京. p. 26.
- 中村 武 1984d. *Compsopogon oishii*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 1巻. 内田老鶴圃. 東京. p. 27.
- 中村 武 1984e. *Compsopogonopsis japonica*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 1巻. 内田老鶴圃. 東京. p. 28.
- 中村 武 1984f. *Thorea okadai*. In: 山岸高旺・秋山 優 (編), 淡水藻類写真集. 1巻. 内田老鶴圃. 東京. p. 96.
- 中村 武 1993a. *Compsopogonopsis japonica* Chihara. In: 堀 輝三 (編), 藻類の生活史集成. 第2巻. 褐藻・紅藻類. 内田老鶴圃. 東京. pp. 172–173.
- 中村 武 1993b. *Compsopogon hookeri* Montagne. In: 堀 輝三 (編), 藻類の生活史集成. 第2巻. 褐藻・紅藻類. 内田老鶴圃. 東京. pp. 174–175.
- 中村 武 1996. 絶滅の恐れのある植物群の生育状況と保全について—淡水紅藻オオイシソウ類とチスジノリの現状報告と貴重な地域の自然を題材とした環境教育—. 南教育センター研究紀要 9: 20–23.
- 中村 武・千原光雄 1977a. 関東における紅藻チスジノリ属の生育. *藻類* 25: 159–162.
- 中村 武・千原光雄 1977b. 淡水産紅藻オオイシソウモドキの生活史について. *藻類* 25 (suppl.): 195–201.
- 中村 武・千原光雄 1983. 淡水産紅藻オオイシソウ属の日本新産2種について. *植物研究雑誌* 58: 54–61.
- Necchi, O. Jr. 1990b. Geographic distribution of the genus *Batrachospermum* (Rhodophyta, Batrachospermales) in Brazil. *Revista Brasil. Biol.* 49: 663–669.
- 岡田喜一 1944. 日本淡水産ウシケノリ属の一種タニウシケノリについて. *植物研究雑誌* 20: 201–204.
- Okamura, K. 1897. On the algae from Ogasawara-jima (Bonin Islands). *Bot. Mag. Tokyo* 11: 11–17.
- Okamura, K. 1907. Icones of Japanese algae. 1, p. 102, pl. 22, figs. 14–22.
- 岡村金太郎 1902. 日本藻類名彙. 東京.
- 岡村金太郎 1907–1909. 日本藻類図譜. 1巻. 東京. 258 pp., pls. I–L.
- 岡村金太郎 1913–1915. 日本藻類図譜. 3巻. 東京. 218 pp., pls. CI–CL.
- 岡村金太郎 1922. 日本藻類図譜. 4巻. 東京.
- 沖縄県 (編) 2006. 改定・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (菌類編・植物編) —レッドデータおきなわ—. 沖縄県文化環境部自然保護課 那覇.
- 大石芳三 1901. ヒメカワモズク. 新撰日本植物図鑑 (松村任三・三好 学編), 下等陰花類部 2(4): 79.
- 大野直枝 1899. カワモズク. 新撰日本植物図鑑 (松村任三・三好 学編), 下等陰花類部 1(2): 10.
- Post, E. 1936. Systematische und pflanzengeographische Notizen zur *Bostrychia-Caloglossa*-Assoziation. *Rev. Algol.* 9: 1–84.
- Post, E. 1941. *Bostrychia hamana-tokidai* spec. nov., eine neue süd-japanische *Bostrychia*. *Beih. Bot. Centralbl., Abt. B.* 61: 208–210.
- Post, E. 1961. *Bostrychia flagellifera* Post in Japan. A synoptic study. *Bull. Res. Council. Israel.* 10D: 101–115.
- Rabenhorst, L. 1868. *Flora europaea algarum aquae dulcis et submarinae*. Vol. 3. Leipzig. XX + 461 pp.
- Reis, M. P. dos 1954. Contribuição para o conhecimento das espécies de *Batrachospermum* Roth de flora portuguesa. *Ciencias [Madrid]* 19: 349–357.
- Reis, M. P. dos 1960. Revisão dos espécimes *Batrachospermum* Roth e *Sirodotia* Kylin dos herbários dos institutos botânicos de Coimbra e Lisboa. *Bol. Soc. Brot. ser. 2.* 34: 37–55.
- Reis, M. P. dos 1973. Subsídios para o conhecimento das Rodofíceas de água doce de Portugal. VII. *Bol. Soc. Brot. ser. 2.* 47: 139–156.
- 齊田功太郎 1910. 内外普通植物誌下等植物編. 東京.
- 瀬川宗吉 1939. 「ゆたかかわもずく」属 (新称) 邦産二種. *植物及び動物* 7: 3033–3036.
- Seto, R. 1979. Notes on the family Compsopogonaceae (Rhodophyta, Bangiales) in Okinawa Prefecture, Japan. *Jpn. J. Phycol.* 30: 57–62.
- 瀬戸良三 1993a. *Compsopogon oishii* Okamura. In: 堀 輝三 (編), 藻類の生活史集成. 第2巻. 褐藻・紅藻類. 内田老鶴圃. 東京. pp. 170–171.
- 瀬戸良三 1993b. *Hildenbrandia rivularis* (Liebman) J. Agardh. In: 堀 輝三 (編), 藻類の生活史集成. 第2巻. 褐藻・紅藻類. 内田老鶴圃. 東京. pp. 270–271.
- 瀬戸良三 1996. イバラオオイシソウ. 日本の稀少な野生生物に関する基礎資料 (III). 分冊 VI. 水生植物. 日本水産資源保護協会. pp. 374–376.
- 瀬戸良三・広瀬弘幸・熊野 茂 1974. 淡水産紅藻ベニマダラ属の一種 *Hildenbrandia rivularis* (Lieb.) J. Ag. の成長について. *藻類* 22: 10–16.
- 瀬戸良三・右田清治・真殿克麿・熊野 茂 1993. 兵庫県安室川産の淡水産紅藻チスジノリとチスジノリ属2種の日本における分布. *藻類* 41: 355–357.
- Sheath, R. G., Vis, M. L. & Cole, K. M. 1994. Distribution and systematics of *Batrachospermum* (Batrachospermales, Rhodophyta) in North America. 4. Section Virescentia. *J. Phycol.* 30: 108–117.
- Shi, Z., Wie, Y. & Li, Y. 1994. A preliminary investigation on Rhodophyta, Cryptophyta, Pyrrophyta, Chrysophyta, Xanthophyta, Chloromomadophyceae and Charophyta from the Wuling mountain region, China, p. 218–226. In *Compilation of Reports on the Survey of Algal Resources in South-Western China* (Shi, Z. et al. ed.), Science Press, Beijing, China.
- Skuja, H. 1928. Vorarbeiten zu einer Algenflora von Lettland. IV. *Acta Horti Bot. Univ. Latv.* 3: 103–218.
- Skuja, H. 1931a. Einiges zur Kenntnis der brasilianischen Batrachospermen. *Hedwigia* 71: 78–87.
- Skuja, H. 1931b. Untersuchungen über die Rhodophyceen des Süßwassers. [I, II]. *Arch. Protistenk.* 74: 297–309.
- Skuja, H. 1969. Eigentümliche morphologische Anpassung eines *Batrachospermum* gegen mechanische Schädigung in fließenden Wasser. *Österr. Bot. Z.* 116: 55–64.
- Sirodot, S. 1884. Les Batrachospermes: organisation, fonctions, développement, classification. Paris. 299 pp., 50 pls.
- 田中次郎 1989. 紅藻類コケモドキ属の分類. *日本植物分類学会会報* 8: 15–23.
- 田中次郎 1995. マングローブの藻類. *プランタ* 10: 20–26.
- 田中 剛 1944. 日本産ウシケノリ綱植物の分類学的研究 (その一) ゴニオトリクム属の種類について. *植物研究雑誌* 20: 217–234.
- Tanaka, T. 1956. Studies on some marine algae from southern Japan II. *Mem. Fac. Fish. Kagoshima Univ.* 5: 103–108.
- Thore, J. 1800. Sur la *Conferva hispida*. *Mag. Encycl., An* 5, 6: 398–403.
- 栃木県 (編) 2005. レッドデータブックとちぎ —栃木県の保護上注目

- すべき地形・地質・野生生物, 宇都宮.
- 時田 郁 1939. 二三海藻に関する知見, 特に邦産コケモドキ属に就きて. 植物及動物 7: 522-530.
- 時田 郁 1941. 二三海藻に関する知見 (2). 植物及動物 9: 49-56.
- Umezaki, I. 1960. On *Sirodotia delicatula* Skuja from Japan. Acta Phytotax. Geobot. 13: 208-214.
- Vis, M. L., Sheath, R. G. & Entwisle, T. J. 1995. Morphometric analysis of *Batrachospermum* section *Batrachospermum* (*Batrachospermales*, Rhodophyta) type specimens. Eur. J. Phycol. 30: 35-55.
- 渡辺博光・碓井俊明 2000. 「島原半島のオキチモズクが危ない」理科会報 (生物) 39: 41-48.
- West, W. & West G. S. 1897. Welwitsch's African freshwater algae. J. Bot. 35:1-7, 33-42, 77-89, 113-122, 172-183, 235-243, 264-272, 287-304.
- Yadava, R. N. & Kumano, S. 1985. *Compsopogon prolificus* sp. nov. (Compsopogonaceae, Rhodophyta) from Allahabad, Uttar Pradesh in India. Jap. J. Phycol. 33: 13-20.
- 八木繁一・米田勇一 1940. 淡水産紅藻の一新種オキチモズクについて. 植物分類地理. 9: 82-86.
- Yamada, Y. 1949. On the species of *Thorea* from the Far Eastern Asia. J. Jap. Bot. 24: 155-158.
- 山岸高旺 1998. 淡水藻類写真集ガイドブック. 内田老鶴圃, 東京.
- 山岸高旺 1999. 淡水藻類入門. 内田老鶴圃, 東京.
- 吉田忠生 1998. 新日本海藻誌. 内田老鶴圃, 東京.
- 吉田忠生 2000a. オキチモズク. In: 環境庁 (編) 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック. 植物 II (維管束植物以外) 藓苔類・藻類・地衣類・菌類. 自然環境研究センター, 東京. 220.
- 吉田忠生 2000b. シマチスジノリ. In: 環境庁 (編) 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック. 植物 II (維管束植物以外) 藓苔類・藻類・地衣類・菌類. 自然環境研究センター, 東京. 221.
- 吉田忠生 2000c. オオイシソウモドキ. In: 環境庁 (編) 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック. 植物 II (維管束植物以外) 藓苔類・藻類・地衣類・菌類. 自然環境研究センター, 東京. 222.
- 吉田忠生 2000d. チスジノリ. In: 環境庁 (編) 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック. 植物 II (維管束植物以外) 藓苔類・藻類・地衣類・菌類. 自然環境研究センター, 東京. 251.
- 吉田忠生 2000e. イバラオオイシソウ. In: 環境庁 (編) 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック. 植物 II (維管束植物以外) 藓苔類・藻類・地衣類・菌類. 自然環境研究センター, 東京. 252.
- 吉田忠生 2000f. オオイシソウ. In: 環境庁 (編) 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック. 植物 II (維管束植物以外) 藓苔類・藻類・地衣類・菌類. 自然環境研究センター, 東京. 253.
- 吉田忠生 2000g. アツカワオオイシソウ. In: 環境庁 (編) 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック. 植物 II (維管束植物以外) 藓苔類・藻類・地衣類・菌類. 自然環境研究センター, 東京. 254.
- 吉田忠生 2000h. インドオオイシソウ. In: 環境庁 (編) 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック. 植物 II (維管束植物以外) 藓苔類・藻類・地衣類・菌類. 自然環境研究センター, 東京. 255.
- 吉田忠生 2000i. ムカゴオオイシソウ. In: 環境庁 (編) 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック. 植物 II (維管束植物以外) 藓苔類・藻類・地衣類・菌類. 自然環境研究センター, 東京. 256.
- Yoshizaki, M. 1986. The morphology and reproduction of *Thorea okadai* (Rhodophyta). Phycologia 25: 476-481.
- 吉崎 誠 1993. *Thorea okadai* Yamada. In: 堀 輝三 (編), 藻類の生活史集成. 第2巻. 褐藻・紅藻類. 内田老鶴圃, 東京. pp. 226-227.
- 吉崎 誠 1996. オオイシソウ. 日本の稀少な野生生物に関する基礎資料 (III). 分冊 VI. 水生植物. 日本水産資源保護協会. pp. 367-373.
- 吉崎 誠 1997. アツカワオオイシソウ. 日本の稀少な野生生物に関する基礎資料 (IV). 分冊 VI. 水生植物. 日本水産資源保護協会. pp. 450-453.
- 吉崎 誠 1998. 第2節. 紅藻植物門. In: 県史シリーズ 43. 千葉県の自然誌. 本編 4. 千葉県の植物 1. 細菌, 菌類, 地衣類, 藻類, コケ類. 第5章. 陸と淡水の藻類 (千原光雄編), 千葉県. pp. 331-334.
- Yoshizaki, M. 2002. Morphology and taxonomy of the Japanese representative of *Batrachospermales*, Rhodophyta: Thallus structure and reproductive organs of *Batrachospermum japonicum* Mori. Bull. Natn. Sci. Mus, Tokyo, Ser. B, 28: 121-128.
- 吉崎 誠・出井雅彦 2005a. フタマタカワモズク. In: 栃木県 (編) レッドデータブックとちぎ—栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生生物. 宇都宮. 407.
- 吉崎 誠・出井雅彦 2005b. オオイシソウ. In: 栃木県 (編) レッドデータブックとちぎ—栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生生物. 宇都宮. 408.
- 吉崎 誠・出井雅彦 2005c. イシカワモズク. In: 栃木県 (編) レッドデータブックとちぎ—栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生生物. 宇都宮. 409.
- 吉崎 誠・出井雅彦 2005d. ニホンカワモズク. In: 栃木県 (編) レッドデータブックとちぎ—栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生生物. 宇都宮. 409.
- 吉崎 誠・出井雅彦 2005e. タンスイベニマダラ. In: 栃木県 (編) レッドデータブックとちぎ—栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生生物. 宇都宮. 410.
- 吉崎 誠・宮地和幸・加崎英男 1983. 千葉県産タニコケモドキ. 藻類 31: 280-283.
- Zuccarello, G. C. & West, J. A. 2006. Molecular phylogeny of the subfamily *Bostrychioideae* (Ceramiales, Rhodophyta): subsuming *Stictosiphonia* and highlighting polyphyletic species of *Bostrychia*. Phycologia 45: 24-36.

(<sup>1</sup>) 〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2 国立環境研究所,  
<sup>2</sup> 〒811-0114 福岡県粕屋郡新宮町湊坂 3-9-4 海藻研究所,  
<sup>3</sup> 〒690-8504 松江市西川津町 1060 島根大学教育学部生物学研究室,  
<sup>4</sup> 〒901-2111 沖縄県浦添市字経塚 720 沖縄県環境科学センター,  
<sup>5</sup> 〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘 6 丁目 兵庫県立人と自然の博物館,  
<sup>6</sup> 〒223-0066 横浜市港北区高田西 4-27-35 河川生物研究所,  
<sup>7</sup> 〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学海洋環境学科,  
<sup>8</sup> 〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学生物科学系,  
<sup>9</sup> 〒333-0815 川口市北原台 3-10-10,  
<sup>10</sup> 〒373-0802 群馬県太田市矢場新町 149-5 株式会社ハセイ,  
<sup>11</sup> 〒901-2215 沖縄県宜野湾市真栄原 3-7-24 沖縄環境分析センター,  
<sup>12</sup> 〒274-0072 千葉県船橋市三山 2-2-1 東邦大学生物学科)